

# 2010ビハーラ通信

## いのちと宗教の連続講座特別号

ビハーラ鹿児島設立20周年記念事業  
いのちと宗教の連続講座全日程終了

本願寺鹿児島別院・会議室、研修室  
を会場に10月22日（金）から始ま  
った「いのちと宗教の連続講座」が2  
2日（金）29日（金）と全3回の全  
日程を無事終了しました。第1回目は  
鍋島直樹先生にビハーラとは何かをわ  
かりやすくお話頂きました。第2回目  
では坂原英見先生に基幹運動の観点か  
らビハーラと人権について心に響くお

熱心に講演に耳を傾ける参加者の皆さん  
2010年10月22日（金）鹿児島別院会議室にて



話いただきました。第3回目には三木  
徹生先生から、実際の医療現場でのお  
話を頂き、ビハーラ活動の大切さを教  
えて頂きました。参加者の方からは「参  
加して良かったです。ぜひまた開催し  
てください」「もっとお話を聞きたかつ  
たです」等たくさんのご感想をいただ  
きました。多くの方にご参加を頂き3  
日間で平均47人のご来場がありました。  
また、この講座をきっかけに入会  
して下さった方もたくさんいらっしゃ  
いました。少しずつですがビハーラ鹿  
児島の和が広がっています。

今回の講座をきっかけに初めてビハ  
ーラ活動を学んだ方、改めてビハーラ  
活動の原点を確認した方、それぞれに  
実り多き連続講座となったのではない  
でしょうか。ビハーラについて考える  
こと、意見を交換すること、そのこと  
がビハーラ活動の第一歩です。ビハー  
ラ鹿児島の和がさらに大きく広がるよ  
う、皆さんでビハーラ活動を推進して  
きましょう。

いのちと宗教の連続講座を終えて  
事務局より

「いのちと宗教の連続講座」も皆さ  
まのご協力のおかげで無事に全日程を  
終えることができました。本当にあり  
がとうございました。

この度の連続講座はご講師の先生、  
参加者の方、役員の方、会員の方、全  
員で作り、全員で学んだ連続講座であ  
ったと思います。講座が終わってから  
皆さんのアンケートを読み、たくさん  
の素敵なご感想があったこと、ビハー  
ラへの熱い要望があったこと、本当に  
うれしく、2回目、3回目と私も講座  
を心待ちにしていました。

また、この度の連続講座をきっかけ  
に新しい仲間も加わりました。少しず  
つ、私たちの想いが人から人へと繋が  
っている事を実感しました。

ビハーラの想いがもっと広まるよう、  
これからも全員でより良いビハーラ活  
動を展開していきましょう。



# 感想

## 【第1回目】

ビハラの独自性

・浄土教における死と自愛・

○亡くなった方々は仏様となり、私たちを身近な所で見守り、導いて下さっている事、ご縁を頂いている事が本当に分かってきました。「支えることだけではなく、支えられている」という事を確認していきたいと思いました。毎日が楽しくなりそうです。

○ビハラとは何か。以前から不思議な言葉だな、お寺では全て日本語であってほしいと思っていました。ビハラのこと、原点が少しわかった気がします。

○一番根本的な人間は死に行く存在であることに再度気付かされた。「命日は私に生きろと教えてくれた日。その日が私の中で咀嚼できる日が来ることを願って、余命の付いた父に支えられて生きている毎日を送りたいと思う。



鍋島先生(第1回目講師)



坂原先生(第2回目講師)



三木先生(第3回目講師)

## 【第2回目】

いのちに向き合う

・ビハラにおいて人権を考える・

○大きな、大きな衝撃を受けたと共に、介護に従事する者として「今の私は大丈夫だろうか」と心が動揺しました。仏教徒としての我が身を問い直し、一人ひとりの心に寄り添った本当の当たり前のケアを目指し、実践していく勇気と元気を頂戴しました。

○時間があつという間に終わりました。当り前の事、自分のカラに覆われていたこと、一人ひとりの違いを尊重することを学びました。

○特老勤務で社内研修で虐待の研修もあり、大変ためになりました。自分のいたらなさが見えてきました。人として当り前の行為「特別なことではない」感動しました。大切な命。一人ひとりの人権。

## 【第3回目】

医療と宗教の接点

・がん医療の現場から・

○自分の経験から「告知の難しさ」を改めて感じました。そして、今から始める私のビハラ活動への大きなヒントを頂きました。

○がんとは他人事ではなく、生きていくかぎりいつなるか分からない病気です。自分や家族、周りの人達が病気になった時の“心がまえ”として聞きました。まだまだ未熟ですが、何かの形として残せればと思います。

○たくさんの詩を先生のお声で聞かせて頂き、生かさせていただいていることが胸にジーンとききました。医者は患者にはドライだと思っていました。温かな現場の声、取り組みを聞けて安心しました。予期悲嘆という言葉に安心しました。

ここでは、連続講座に対する皆さまから頂いたご感想の一部をご紹介します。



多くのご参加、ご感想ありがとうございました。今年度の講座は全て終了となりましたが、来年以降、皆さまと一緒に良い学びができるよう、計画していきたいと思えます。今後ともビハラ鹿児島をよろしくお願いたします。

